

令和 8 年度

専攻科学生募集要項 入学案内



(選抜日程表)

選抜方法	出願書類受付期間	試験実施日	合格発表日
推薦特別選抜	令和7年 4月24日(木)～5月7日(水)	令和7年 5月15日(木) (面接実施の場合)	令和7年 5月22日(木)
一般学力検査選抜 〔A方式〕	令和7年 5月23日(金)～5月29日(木)	令和7年 6月15日(日)	令和7年 6月19日(木)
一般学力検査選抜 〔B方式〕	令和7年 6月2日(月)～6月6日(金)		
社会人特別選抜	令和7年 11月10日(月)～11月14日(金)	令和7年 11月23日(日)	令和7年 11月27日(木)

独立行政法人国立高等専門学校機構

舞鶴工業高等専門学校

〒625-8511 京都府舞鶴市字白屋 234 番地

電話 (0773) 62-8881

FAX (0773) 62-8889

目 次

専攻科の三つのポリシー

1. アドミッション・ポリシー（入学者受入方針）	1
2. カリキュラム・ポリシー（教育課程編成・実施の方針）	2
3. ディプロマ・ポリシー（修了認定の方針）	3

専攻科学生募集要項

I 募集専攻・入学定員	5
II 選抜区分等	5
III 推薦特別選抜	5
IV 一般学力検査選抜	8
V 社会人特別選抜	13
VI 個人情報の取り扱い	15
VII その他	15

専攻科入学案内

1. 沿革概要	16
2. 教育目的	16
3. 総合システム工学専攻各コースの教育目的	16
4. 専攻科修了者像	17
5. 専攻科の教育課程および修了に必要な条件	17
6. 学士の学位の取得	17
7. 学寮	18
8. 入学時等に必要な経費	18
9. 入学料・授業料の免除及び奨学金制度についておよび徴収猶予	18
10. その他	18

専攻科の三つのポリシー

1. アドミッション・ポリシー（入学者受入方針）

専攻科では、優れた資質の技術者を養成するため、次のような入学者を期待しています。

- (1) 技術社会の中核を担う者として、社会で広く活躍し貢献していく意欲のある人
- (2) 専攻科生としての自覚と確かな目標をもち、自主的に学習・研究する意欲が高く、十分な基礎学力を身につけている人
- (3) コミュニケーションの能力と物事を筋道立てて考察する力があり、自己の考えを適切に表現することができる人
- (4) しっかりとした社会性と倫理観をもち、そして自ら考え、適切に行動できる人

また、各コースの求める適性を有する人は以下のとおりです。

■ 電気電子システム工学コース

1. 電気電子工学分野に係わる基礎知識を有する人
2. 電気電子工学の知識を高め、その分野で活躍したいという意欲のある人

■ 機械制御システム工学コース

1. 機械工学分野に係わる基礎知識を有する人
2. 機械工学の知識を高め、その分野で活躍したいという意欲のある人

■ 建設工学コース

1. 土木工学または建築学分野に係わる基礎知識を有する人
2. 土木工学および建築学の知識を高め、その分野で活躍したいという意欲のある人

専攻科では、上記の人の入学が実現できるよう次の基本方針で入学者選抜を行います。

〈推薦特別選抜〉

高等専門学校を卒業見込みの者で、学業・人物とも優秀であることにより出身の高等専門学校長の推薦を受けた入学意志が強固な者に対して、調査書および面接の結果を総合的に評価し、選抜します。

〈一般学力検査選抜（A 方式）〉

高等専門学校を卒業した者（卒業見込みの者を含む）等で、入学意志が強固な者に対して、調査書、面接、学力検査、および英語能力検査の結果を総合的に評価し、選抜します。

〈一般学力検査選抜（B 方式）〉

高等専門学校を卒業した者（卒業見込みの者を含む）等に対して、調査書、面接、学力検査、および英語能力検査の結果を総合的に評価し、選抜します。

〈社会人特別選抜〉

高等専門学校を卒業し、企業等での勤務経験のある者に対して、調査書、面接（口頭試問を含む）、英語能力検査、および小論文の結果を総合的に評価し、選抜します。

2. カリキュラム・ポリシー（教育課程編成・実施の方針）

後述のディプロマ・ポリシーに掲げた能力を育成するために、一般科目群および融合複合領域に対応したコース共通の科目群と、高度な専門分野に対応したコース別の科目群を開設します。具体的には、ディプロマ・ポリシーと対応させて以下のように教育課程を編成します。

(1) 一般科目

1. 技術者として広い視野を身につけるための科目を開設します。
2. 技術者としての国際感覚を身につけるための科目を開設します。

(2) 専門共通科目

1. 高度な数学の知識を修得する科目を開設します。
2. 異なる専門分野を含めた幅広い工学の基礎知識を修得する科目を開設します。
3. 技術者としての倫理を学ぶ科目を開設します。
4. 地域、社会等の課題の発見と解決に他者と協働して取り組む力を身につけるための科目を開設します。

(3) 専門コース科目

■ 電気電子システム工学コース

1. 電気電子工学分野の深い学識を修得する科目を開設します。
2. 電気電子工学分野の応用的な実験を学ぶ科目を開設します。
3. 修得した実践技術をエンジニアリングの実践に活用することを学ぶ科目を開設します。
4. 技術者として地域、社会等の課題の発見と解決に取り組む実践力、修得した知識・技術を融合して創造する能力、さらにそれらの成果を発表する能力を身につけるための科目を開設します。

■ 機械制御システム工学コース

1. 機械工学分野の深い学識を修得する科目を開設します。
2. 機械工学分野の応用的な実験を学ぶ科目を開設します。
3. 修得した実践技術をエンジニアリングの実践に活用することを学ぶ科目を開設します。
4. 技術者として地域、社会等の課題の発見と解決に取り組む実践力、修得した知識・技術を融合して創造する能力、さらにそれらの成果を発表する能力を身につけるための科目を開設します。

■ 建設工学コース

1. 土木工学および建築学分野の深い学識を修得する科目を開設します。
2. 土木工学および建築学分野の応用的な実験を学ぶ科目を開設します。
3. 修得した実践技術をエンジニアリングの実践に活用することを学ぶ科目を開設します。
4. 技術者として地域、社会等の課題の発見と解決に取り組む実践力、修得した知識・技術を融合して創造する能力、さらにそれらの成果を発表する能力を身につけるための科目を開設します。

評価方法と評価基準は、以下に示すとおりです。

- (1) 講義科目においては、科目ごとに到達目標を設定し、平常の取り組み（演習、宿題、レポートなど）と定期試験の結果を総合的に勘案し、到達目標に対する到達度を評価します。到達度と評価基準は以下の表のとおりです。

到達度と評価基準

評価	到達目標に対する到達度 (%)	内容	可否
A+	90～100	期待した能力が優れて身についている。	合格
A	80～89	期待した能力が十分身についている。	
B	70～79	期待した能力が身についている。	
C	60～69	期待した能力が概ね身についている。	
F	60%未満	期待した能力が身についていない。	不合格

- (2) 実技・実験・実習・演習などの実践科目においては、課題の取り組み状況、レポート、発表などを総合的に勘案し、設定された到達目標に対する到達度を評価します。
- (3) 特別研究基礎および特別研究においては、研究成果、研究発表、質疑応答、取り組み姿勢、論文（特別研究基礎においては報告書）などを総合的に勘案し、設定された到達目標に対する到達度を評価し、60%以上の到達度をもって合格とします。

3. ディプロマ・ポリシー（修了認定の方針）

本校専攻科の目的・専攻科修了者像に基づき、自らが継続的に学習することで、以下の目標を達成し、修了の認定に関する規程に定める基準を満たした学生に修了を認定します。

■ 電気電子システム工学コース

- (i) 高度な数学の知識と幅広い工学の基礎知識を修得し、専門分野に応用することができる。
- (ii) 電気電子工学分野の深い学識を修得し、専門的な問題を解決するために活用できる。
- (iii) 電気電子工学分野の応用的な実験を遂行・分析することができ、実習・演習により修得した実践技術をエンジニアリングの実務に活用できる。
- (iv) 修得した人文・社会科学の知識により広い視野と国際感覚を持ち、技術者として倫理的に行動することができる。
- (v) 技術者としての実践力、協働力を身につけ、地域、社会等の課題の発見と解決に対して、修得した知識・技術を融合して創造的に取り組むことができる。また、その成果を発表することができる。

■ 機械制御システム工学コース

- (i) 高度な数学の知識と幅広い工学の基礎知識を修得し、専門分野に応用することができる。
- (ii) 機械工学分野の深い学識を修得し、専門的な問題を解決するために活用できる。
- (iii) 機械工学分野の応用的な実験を遂行・分析することができ、実習・演習により修得した実践技術をエンジニアリングの実務に活用できる。
- (iv) 修得した人文・社会科学の知識により広い視野と国際感覚を持ち、技術者として倫理的に行動することができる。
- (v) 技術者としての実践力、協働力を身につけ、地域、社会等の課題の発見と解決に対して、修得した知識・技術を融合して創造的に取り組むことができる。また、その成果を発表することができる。

■ 建設工学コース

- (i) 高度な数学の知識と幅広い工学の基礎知識を修得し、専門分野に応用することができる。
- (ii) 土木工学および建築学分野の深い学識を修得し、専門的な問題を解決するために活用できる。
- (iii) 土木工学および建築学分野の応用的な実験を遂行・分析することができ、実習・演習により修得した実践技術をエンジニアリングの実務に活用できる。
- (iv) 修得した人文・社会科学の知識により広い視野と国際感覚を持ち、技術者として倫理的に行動することができる。
- (v) 技術者としての実践力、協働力を身につけ、地域、社会等の課題の発見と解決に対して、修得した知識・技術を融合して創造的に取り組むことができる。また、その成果を発表することができる。

専攻科学生募集要項

I 募集専攻・入学定員

総合システム工学専攻 16 名
電気電子システム工学コース
機械制御システム工学コース
建設工学コース

II 選抜区分等

入学者の選抜は、推薦特別選抜、一般学力検査選抜、社会人特別選抜に区分し、次のとおり実施する。

選抜区分	試験実施日	募集人員
推薦特別選抜	令和7年 5月15日（木）（面接実施の場合）	8 名程度
一般学力検査選抜〔A 方式〕	令和7年 6月15日（日）	8 名程度
一般学力検査選抜〔B 方式〕	令和7年 6月15日（日）	
社会人特別選抜	令和7年11月23日（日）	若干名

III 推薦特別選抜

1. 出願資格

人物が優秀で、次の各号のいずれにも該当し、在籍する学校の校長の推薦を受けた者

- (1) 令和 8 年 3 月に高等専門学校を卒業見込みの者
- (2) 高等専門学校第 4 学年末における所属クラスの席次（当該学年の年度当初における留学生および休学者を除く在籍者数をクラス人数として席次を算出する）が上位 1/2 以内の者

【本校以外の高等専門学校を卒業見込みの者に対する留意事項】

入学後、独立行政法人大学改革支援・学位授与機構の「学士の学位の授与に係る特例の適用認定（特例認定）」の適用を受けられるかを確認する必要がある。確認の結果によっては、専攻科修了要件を満たしても、特例認定の対象にならず通常の学位申請になる場合がある。

2. 出願手続

2.1 出願書類受付期間

入学志願者は、出願書類を取りそろえ、令和7年4月24日（木）から5月7日（水）までに持参するか、または郵送により出願手続を行うこと。

なお、持参による出願手続の受付時間は、各日とも午前9時から午後4時までの間とする。また、郵送の場合は、令和7年5月7日（水）必着とする。

2.2 出願先

舞鶴工業高等専門学校学生課教務係

〒625-8511 京都府舞鶴市字白屋 234 番地

電話 0773-62-8881 FAX 0773-62-8889

2.3 出願書類

出 願 書 類 等	摘 要
入 学 願 書	本校所定の用紙に必要事項を記入したもの。
入 学 志 願 者 写 真 票 ・ 受 験 票	本校所定の用紙に必要事項を記入のうえ、写真票には、写真1枚を所定の位置に貼付すること。なお、写真（縦4cm×横3cm）は、無背景で上半身・脱帽・正面向きで、出願前3か月以内に撮影したものを使用すること。
入 学 志 願 者 調 査 書	本校所定の用紙に在籍学校長が記入のうえ、厳封したもの。
成 績 証 明 書	出身校所定の用紙に在籍学校長が作成のうえ、厳封したもの。高等学校から高等専門学校に編入学した者については、出身高等学校の成績証明書も添付すること。
推 薦 書	本校所定の用紙に在籍学校長が作成のうえ、厳封したもの。
志 望 理 由 書 （推薦特別選抜および一般 学 力 検 査 選 抜 〔 A 方 式 〕 用 ）	本校所定の用紙に必要事項を記入したもの。
入 学 誓 約 書 （推薦特別選抜および一般 学 力 検 査 選 抜 〔 A 方 式 〕 用 ）	本校所定の用紙に必要事項を記入したもの。
検 定 料 検 定 料 振 込 証 明 書 貼 付 用 紙	16,500 円 本校所定の「検定料振込依頼書」に必要事項を記入のうえ、銀行（信用金庫、JA バンク等を含む）または郵便局において検定料を振込み、「振込金（検定料）証明書」を「検定料振込証明書貼付用紙」に貼付したもの。 ※ なお、既納の検定料は、本校に出願しなかった場合または検定料を重複して納付した場合を除き、還付できないので注意すること。

返信用封筒	「入学志願者受験票」の受領を郵送で希望する場合は、長形3号（120mm×235mm）の封筒に、郵便番号、住所、氏名を明記のうえ、410円（速達料を含む）分の切手を貼付したもの。
-------	--

2.4 留意事項

- ① 郵送する場合は、必ず簡易書留とし封筒の表に「専攻科推薦特別選拔出願書類在中」と朱書きすること。
- ② 出願書類に不備がある場合は、原則として出願書類を受理しない。
- ③ 出願後は、原則として記載事項の変更は認めない。
- ④ 受理した出願書類は、いかなる理由があっても返却しない。
- ⑤ 出願書類に虚偽の記載をした者は、入学決定後であっても入学の許可を取り消すことがある。

3. 入学者選抜方法

入学者の選抜は、出願書類の内容の総合判定により行う。ただし、提出された出願書類の内容を確認する目的で面接を実施する場合がある。この場合、令和7年5月12日（月）午後4時までに推薦者宛に通知する。

- (1) 面接日時 令和7年5月15日（木）午後2時～
面接対象者は、当日、午後1時30分までに本校の指定場所に集合すること。
- (2) 面接場所 舞鶴工業高等専門学校
- (3) 内容および配点

内容	志望理由書	入学志願者調査書	合計
配点	50	100	150

（注）出願書類や面接において、本校専攻科のアドミッション・ポリシー（入学者受入方針）に著しくそぐわないと判断した場合は、不合格とすることがある。

4. 合格者発表

令和7年5月22日（木）正午に本校の掲示にて発表するとともに、午後1時に本校のホームページにおいても発表する。正式には、入学志願者および推薦者宛に書面により合否の通知を行う。

5. 入学手続

入学手続日、入学手続に必要な本校所定の書類やその他詳細については、合格者に対し通知する。

6. 「推薦特別選抜」に合格とならなかった者の「一般学力検査選抜」の受験

「推薦特別選抜」選考の結果、合格とならなかった者で「一般学力検査選抜」の受験を希望する場合は、「一般学力検査選抜」に定めるところにより、再度出願手続を行うこと。なお、この場合、「入学志願者調査書」の提出は不要である。

IV 一般学力検査選抜

1. 出願資格

次の(1)～(6)のいずれかに該当すること。

- (1) 高等専門学校を卒業した者または令和8年3月に卒業見込みの者
- (2) 高等学校（中等教育学校の後期課程および特別支援学校の高等部を含む。）専攻科の課程を修了した者または令和8年3月に修了見込みの者のうち学校教育法第58条の2（同法第70条第1項および第82条において準用する場合を含む。）の規定により大学に編入することができる者
- (3) 短期大学を卒業した者または令和8年3月に卒業見込みの者
- (4) 専修学校の専門課程を修了した者または令和8年3月に修了見込みの者のうち学校教育法により大学に編入学することができる者
- (5) 外国において、学校教育における14年の課程を修了した者
- (6) 外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該国の学校教育における14年の課程を修了した者

【留意事項】

A方式、B方式の2つの方式で実施する。合格判定は2段階とし、「A方式の志願者に対する合格判定」、
「A方式の不合格者とB方式の志願者に対する合格判定」の順で行う。

【本校を卒業見込みの者以外に対する留意事項】

入学後、独立行政法人大学改革支援・学位授与機構の「学士の学位の授与に係る特例の適用認定（特例認定）」の適用を受けられるかを確認する必要がある。確認の結果によっては、専攻科修了要件を満たしても、特例認定の対象にならず通常の学位申請になる場合がある。

2. 出願手続

2.1 出願書類受付期間

入学志願者は、出願書類を取りそろえ、次に示す出願書類受付期間内に持参するか、または郵送により出願手続を行うこと。

選抜区分	出願書類受付期間
一般学力検査選抜〔A方式〕	令和7年 5月23日（金）～ 5月29日（木）
一般学力検査選抜〔B方式〕	令和7年 6月 2日（月）～ 6月 6日（金）

（注） 持参による出願書類の受付時間は、各日とも午前9時から午後4時までの間とする。

また、郵送の場合は、一般学力検査選抜〔A方式〕は令和7年5月29日（木）、一般学力検査選抜〔B方式〕は令和7年6月6日（金）必着とする。

2.2 出願先

舞鶴工業高等専門学校学生課教務係

〒625-8511 京都府舞鶴市字白屋 234 番地

電話 0773-62-8881 FAX 0773-62-8889

2.3 出願書類

出 願 書 類 等	摘 要
入 学 願 書	本校所定の用紙に必要事項を記入したもの。
入 学 志 願 者 写 真 票 ・ 受 験 票	本校所定の用紙に必要事項を記入のうえ、写真票には、写真1枚を所定の位置に貼付すること。なお、写真（縦4cm×横3cm）は、無背景で上半身・脱帽・正面向きで、出願前3か月以内に撮影したものを使用すること。
入 学 志 願 者 調 査 書	出願資格により、それぞれ次の書類を提出すること。 【出願資格（1）の場合】 ① 本校所定の用紙に出身学校長または在籍学校長が記入のうえ、厳封したもの。 ② 高等学校から高等専門学校に編入学した者については、出身高等学校の成績証明書 【出願資格（2）、（3）の場合】 ① 本校所定の用紙に出身学校長または在籍学校長が記入のうえ、厳封したもの。 【出願資格（4）の場合】 ① 本校所定の用紙に出身学校長または在籍学校長が記入のうえ、厳封したもの。 ② 専修学校が発行する修業年限2年以上で、かつ、修了に必要な総授業時数が1,700時間以上の専門課程を修了したことを証明する証明書 ③ 専修学校の専門課程の学科の分野や履修内容が確認できる書類 【出願資格（5）、（6）の場合】 ① 最終学校の成績証明書
成 績 証 明 書	出身校所定の用紙に在籍学校長が作成のうえ、厳封したもの。高等学校から高等専門学校に編入学した者については、出身高等学校の成績証明書も添付すること。

志 望 理 由 書	本校所定の用紙に必要事項を記入したもの。 【A方式に出願する場合】 志望理由書（推薦特別選抜および一般学力検査選抜〔A方式〕用）に記入して、提出すること。 【B方式に出願する場合】 志望理由書（一般学力検査選抜〔B方式〕および社会人特別選抜用）に記入して、提出すること。
TOEIC スコア 証明書	出願書類受付開始日からさかのぼって2年以内に取得したTOEICスコアおよびその取得時期を証明するもの。ただし、証明書は「TOEIC® Listening & Reading Test 公式認定証」または「TOEIC IP スコアレポート」のいずれかの原本とする。なお、原本は確認後に返却する。
入 学 誓 約 書 (推薦特別選抜および一般 学力検査選抜〔A方式〕用)	【A方式に出願する場合】 本校所定の用紙に必要事項を記入したもの。
検 定 料 検 定 料 振 込 証 明 書 貼 付 用 紙	16,500 円 本校所定の「検定料振込依頼書」に必要事項を記入のうえ、銀行（信用金庫、JA バンク等を含む）または郵便局において検定料を振込み、「振込金（検定料）証明書」を「検定料振込証明書貼付用紙」に貼付したもの。 ※ なお、既納の検定料は、本校に出願しなかった場合または検定料を重複して納付した場合を除き、還付できないので注意すること。
返 信 用 封 筒	「入学志願者受験票」の受領を郵送で希望する場合は、長形3号（120mm×235mm）の封筒に、郵便番号、住所、氏名を明記のうえ、410 円（速達料を含む）分の切手を貼付したもの。

2.4 留意事項

- ① 郵送する場合は、必ず簡易書留とし封筒の表に「専攻科一般学力検査選拔出願書類在中」と朱書きすること。
- ② 出願書類に不備がある場合は、原則として出願書類を受理しない。
- ③ 出願後は、原則として記載事項の変更は認めない。
- ④ 受理した出願書類は、いかなる理由があっても返却しない。
- ⑤ 出願書類に虚偽の記載をした者は、入学決定後であっても入学の許可を取り消すことがある。
- ⑥ A方式に出願した者は、B方式に出願することができない。
- ⑦ TOEIC スコア証明書の提出が無い場合、英語の評価は0点となる。

3. 入学者選抜方法

入学者の選抜は、総合判定により行う。

(1) 実施日等

選抜区分	試験実施日	教科・科目等	実施時間	実施場所
一般学力検査選抜	令和7年 6月15日（日）	数学	9:50～11:00	舞鶴工業
		面接	12:00～	高等専門学校

（注）当日、午前9時20分までに本校の指定場所に集合すること。

(2) 科目の出題範囲

科 目	コース	出 題 範 囲
数 学	コース共通	微分積分，線形代数
専 門 科 目 （口 頭 試 問）	電気電子システム工学	電気電子工学，情報工学に関する基礎的な内容
	機械制御システム工学	機械工学，制御工学に関する基礎的な内容
	建設工学※	（土木分野）土木工学に関する基礎的な内容
		（建築分野）建築学に関する基礎的な内容

※建設工学コースを志望する場合は、土木分野もしくは建築分野のいずれかを選択して受験すること。

(3) 内容および配点

内容	数学	英語	面接（専門科目の 口頭試問を含む）	入学志願者調査書	合計
配点	50	50	100	100	300

（注1）面接において、本校専攻科のアドミッション・ポリシー（入学者受入方針）に著しくそぐわないと判断した場合は、不合格とすることがある。

（注2）英語の評価点は TOEIC スコアを12で割った値（小数点以下を切り捨て、最高点を50点とする）

4. 合格者発表

次に示す日時で本校における掲示および本校のホームページにて発表する。正式には、入学志願者宛に書面により可否の通知を行う。

選抜区分	合格者発表日時（本校掲示板）	合格者発表日時（本校ホームページ）
一般学力検査選抜	令和 7 年 6 月 19 日（木）正午	令和 7 年 6 月 19 日（木）午後 1 時

A 方式以外の一般学力検査選抜合格者は、合格通知書等を送付する際に同封する「入学誓約書」を期限までに舞鶴工業高等専門学校学生課教務係へ提出すること。B 方式合格者の提出期限は令和 7 年 9 月 19 日（金）とする。なお、「入学誓約書」を提出しない場合には、入学を辞退したものととして取り扱う。

5. 入学手続

入学手続日、入学手続に必要な本校所定の書類やその他詳細については、A 方式合格者ならびに「入学誓約書」を提出した者に対し通知する。

V 社会人特別選抜

1. 出願資格

次の各号のいずれにも該当すること。

- (1) 入学時において高等専門学校を卒業後2年以上経過した者
- (2) 出願時において企業等の在職期間が1年以上ある者

【留意事項】

入学後、独立行政法人大学改革支援・学位授与機構の「学士の学位の授与に係る特例の適用認定（特例認定）」の適用を受けられるかを確認する必要がある。確認の結果によっては、専攻科修了要件を満たしても、特例認定の対象にならず通常の学位申請になる場合がある。

2. 出願手続

2.1 出願書類受付期間

入学志願者は、出願書類を取りそろえ、令和7年11月10日（月）から11月14日（金）までに持参するか、または郵送により出願手続きを行うこと。なお、持参による出願手続の受付時間は、各日とも午前9時から午後4時までの間とする。また、郵送の場合は、令和7年11月14日（金）必着とする。

2.2 出願先

舞鶴工業高等専門学校学生課教務係

〒625-8511 京都府舞鶴市字白屋 234 番地

電話 0773-62-8881 FAX 0773-62-8889

2.3 出願書類

出 願 書 類 等	摘 要
入 学 願 書	本校所定の用紙に必要事項を記入したもの。
入 学 志 願 者 写 真 票 ・ 受 験 票	本校所定の用紙に必要事項を記入のうえ、写真票には、写真1枚を所定の位置に貼付すること。なお、写真（縦4cm×横3cm）は、無背景で上半身・脱帽・正面向きで、出願前3か月以内に撮影したものを使用すること。
入 学 志 願 者 調 査 書	本校所定の用紙に出身学校長が記入のうえ、厳封したもの。
成 績 証 明 書	出身校所定の用紙に在籍学校長が作成のうえ、厳封したもの。高等学校から高等専門学校に編入学した者については、出身高等学校の成績証明書も添付すること。
志 望 理 由 書 (一般学力検査選抜〔B方式〕 および社会人特別選抜用)	本校所定の用紙に必要事項を記入したもの。

TOEIC スコア 証明書	出願書類受付開始日からさかのぼって 2 年以内に取得した TOEIC スコアおよびその取得時期を証明するもの。ただし、証明書は「TOEIC® Listening & Reading Test 公式認定証」または「TOEIC IP スコアレポート」のいずれかの原本とする。なお、原本は確認後に返却する。
業 務 経 歴 書	企業等に勤務する者（退職者を含む）は、本人の勤務経歴および職務内容を任意の様式により記入したもの。
出 願 承 諾 書	本校所定の用紙に企業等の所属長が記入したもの（企業等に在職のまま入学し、専攻科修了後に復職する者のみ提出）。
検 定 料 検 定 料 振 込 証 明 書 貼 付 用 紙	16,500 円 本校所定の「検定料振込依頼書」に必要事項を記入のうえ、銀行（信用金庫、JA バンク等を含む）または郵便局において検定料を振込み、「振込金（検定料）証明書」を「検定料振込証明書貼付用紙」に貼付したもの。 ※なお、既納の検定料は、本校に出願しなかった場合または検定料を重複して納付した場合を除き、還付できないので注意すること。
返 信 用 封 筒	「入学志願者受験票」の受領を郵送で希望する場合は、長形 3 号(120mm×235mm)の封筒に、郵便番号、住所、氏名を明記のうえ、410 円（速達料を含む）分の切手を貼付したもの。

2.4 留意事項

- ① 郵送する場合は、必ず簡易書留とし封筒の表に「社会人特別選拔出願書類在中」と朱書きすること。
- ② 出願書類に不備がある場合は、原則として出願書類を受理しない。
- ③ 出願後は、原則として記載事項の変更は認めない。
- ④ 受理した出願書類は、いかなる理由があっても返却しない。
- ⑤ 出願書類に虚偽の記載をした者は、入学決定後であっても入学の許可を取り消すことがある。
- ⑥ TOEIC スコア証明書の提出が無い場合、英語の評価は 0 点となる。

3. 入学者選抜方法

入学者の選抜は、総合判定により行う。

(1) 実施日等

試験実施日	教科・科目等	実施時間	実施場所
令和 7 年 11 月 23 日（日）	小論文	9:30～10:30	舞鶴工業高等専門学校
	面接	10:50～	

（注）当日、午前 9 時までに本校の指定場所に集合すること。

(2) 内容および配点

内容	小論文	英語	面接	入学志願者調査書	合計
配点	50	50	150	50	300

(注 1) 面接において、数学および専門科目に関する口頭試問を行う。また、本校専攻科のアドミッション・ポリシー（入学者受入方針）に著しくそぐわないと判断した場合は、不合格とすることがある。

(注 2) 英語の評価点は TOEIC スコアを 12 で割った値（小数点以下を切り捨て、最高点を 50 点とする）

4. 合格者発表

令和 7 年 11 月 27 日（木）正午に本校の掲示にて発表するとともに、午後 1 時に本校のホームページにおいても発表する。正式には、入学志願者宛に書面により可否の通知を行う。

合格者は、合格通知書等を送付する際に同封する「入学誓約書」を令和 7 年 12 月 11 日（木）までに舞鶴工業高等専門学校学生課教務係へ提出すること。なお、「入学誓約書」を提出しない場合には、入学を辞退したものと取り扱う。

5. 入学手続

入学手続日、入学手続に必要な本校所定の書類やその他詳細については、「入学誓約書」を提出した者に対し通知する。

VI 個人情報取り扱い

提出された入学願書や調査書等に記載されている情報および選抜に用いた試験成績・評価などの入学者選抜を通じて取得した個人情報は、入学者選抜の資料として利用するとともに、次の目的のためにも利用する。

- (1) 入学後の教育・指導
- (2) 入学料、授業料の免除申請審査
- (3) 奨学金申請の審査
- (4) 本校および国立高等専門学校全体の教育制度・入学者選抜制度の改善のための調査・研究

VII その他

本募集要項に関する質問等については、次の連絡先に照会すること。

舞鶴工業高等専門学校学生課教務係

〒625-8511 京都府舞鶴市字白屋 234 番地

電話 0773-62-8881 FAX 0773-62-8889

E-mail: kyoumu@maizuru-ct.ac.jp

専攻科入学案内

1. 沿革概要

- 昭和 40 年 4 月 01 日 国立学校設置法の一部を改正する法律が公布され、機械工学科 2 学級および電気工学科 1 学級を置く舞鶴工業高等専門学校を設置
- 昭和 40 年 4 月 26 日 開校式ならびに第 1 回入学式を挙行
- 昭和 45 年 4 月 01 日 土木工学科 1 学級を増設
- 平成 02 年 4 月 01 日 機械工学科 2 学級を機械工学科 1 学級、電子制御工学科 1 学級に改組
- 平成 06 年 4 月 1 日 土木工学科を建設システム工学科に改組
- 平成 12 年 4 月 1 日 専攻科（電気・制御システム工学専攻、建設・生産システム工学専攻）を設置
- 平成 12 年 4 月 7 日 第 1 回専攻科入学式を挙行
- 平成 14 年 3 月 26 日 専攻科棟新営工事竣工
- 平成 16 年 4 月 1 日 電気工学科を電気情報工学科に名称変更
- 平成 16 年 4 月 1 日 独立行政法人国立高等専門学校機構が設置する高等専門学校となる
- 平成 18 年 4 月 1 日 建設システム工学科に都市環境コースと建築コースを導入
- 平成 27 年 4 月 1 日 専攻科を総合システム工学専攻 3 コースに改編

2. 教育目的

本校専攻科は、高等専門学校準学士課程における 5 年間にわたる一貫した実践教育の特徴を生かしながら、更に 2 年間の課程において、高度の学問と技術を追求し、創造性・人間性豊かで、より独創的技術開発能力を兼ね備えた中核的技術者の育成を目的とします。

3. 総合システム工学専攻各コースの教育目的

■ 電気電子システム工学コース

高等専門学校準学士課程等で修得した基礎学力と専門知識に基づき、電気電子工学およびその周辺分野に関わる、より高度で実践的な最新の技術教育を行い、地域社会に貢献できる独創性豊かな研究開発型の技術者を育成することを目的とする。

■ 機械制御システム工学コース

高等専門学校準学士課程等で修得した基礎学力と専門知識に基づき、機械工学およびその周辺分野に関わる、より高度で実践的な最新の技術教育を行い、地域社会に貢献できる独創性豊かな研究開発型の技術者を育成することを目的とする。

■ 建設工学コース

高等専門学校準学士課程等で修得した基礎学力と専門知識に基づき、土木工学、建築学およびその周辺分野に関わる、より高度で実践的な最新の技術教育を行い、地域社会に貢献できる独創性豊かな研究開発型の技術者を育成することを目的とする。

4. 専攻科修了者像

専攻科では、次のような資質を備えた人材を育てようとしています。

- (1) 実践的な技術者として、幅広い工学の基礎と深い専門領域の学識を修得し、これらをエンジニアリングの実務と技術革新に活用できる。
- (2) 多面的な思考力を有する技術者として、異分野の専門知識を融合し、複合的な技術問題に取り組むことのできる基礎能力を身につける。
- (3) 技術開発力のある技術者として、課題の発見とその解決に取り組む探求能力、粘り強いチャレンジ精神と独創力を身につける。
- (4) 21 世紀の地球人として、多面的な視点から社会の様々な問題に関心をもち、そのあり方を問うことのできる素養と国際感覚を身につける。
- (5) 職業人として、人間性豊かな調和のとれた思考力と、それに基づく実行力を備え、自ら考え行動できる。

5. 専攻科の教育課程および修了に必要な条件

教育課程は、一般科目、専門科目（専門共通科目および専門コース科目）で構成されています。また、専攻科を修了するためには、専攻科に 2 年以上在学（4 年を限度とする）し、総合システム工学の専攻コースごとに開設されている全ての必修科目の単位を含め、下記のように 62 単位以上を修得することが必要です。

修得すべき単位数			
一般科目	専門科目		合計
	専門共通科目	専門コース科目	
6 単位以上	18 単位以上	38 単位以上	62 単位以上

6. 学士の学位の取得

本専攻科を修了した学生は、所定の手続きを経て、大学改革支援・学位授与機構より学士の学位（工学）が授与されます。これにより、大学の学部を卒業した者と同じ資格を持つことになり、大学院への入学資格が得られます。

7. 学寮

専攻科学生の入寮募集は原則、行っていません。

8. 入学時等に必要な経費

令和7年4月（予定）

費 用	入 学 時	4 月 (前期)	10 月 (後期)	備 考
入 学 料	84,600 円			
授 業 料		117,300 円	117,300 円	
教 科 書 代				コースごとに別途指示
諸 経 費	10,000 円	13,000 円	11,500 円	後援会

※ 在学中に授業料改定が行われた場合には、改定時から新授業料が適用されます。

※ 本校出身者は、入学時の諸経費 10,000 円(後援会入会金)が免除されます。

9. 入学料・授業料の免除及び奨学金制度についておよび徴収猶予

入学料・授業料の免除及び奨学金は、以下のような制度があります。詳細は担当係まで問い合わせてください。

- ・ 国立高等専門学校機構の制度による入学料・授業料免除
- ・ 高等教育の修学支援新制度による入学料・授業料免除
- ・ 日本学生支援機構給付・貸与奨学金
- ・ その他の奨学金制度

(担当係) 学生課学生支援係 電話 0773-62-8882

10. その他

その他詳細については、次の連絡先に問い合わせてください。

連絡先

舞鶴工業高等専門学校学生課教務係

〒625-8511 京都府舞鶴市字白屋 234 番地

電話 0773-62-8881 FAX 0773-62-8889

E-mail: kyoumu@maizuru-ct.ac.jp

本校案内図



- JR東舞鶴駅から京都交通バス朝来循環線に乗車、国立高専前で下車
(運行本数が少ないためご注意ください)
- JR東舞鶴駅からタクシー利用 (所要約12分で、料金は3,000円程度です)
- JR松尾寺駅から徒歩25分
- 舞鶴東インターチェンジから車で7分